

2 健康推進室

1) 位置づけ、役割

健康推進室は、学生の定期健康診断及びその後のフォロー、健康相談及び指導、健康教育、応急処置を行なっている。

本学に在学している学生は、看護職を目指しているもので、自らの健康意識を高め、日常生活の中で自己の健康管理ができることは最も基本的で重要なことである。そのため、各クラスから保健委員を選出して、学生と教職員とが連携しながら活動している。

健康推進室は、看護学科の教員2名が兼務しているため、日常的に学内の他の教職員と連携、協力し、また、隣接している東海大学湘南健康推進室と緊密に連携しながら業務を遂行している。

構 成 員	
室 長	中田 芳子 (准教授)
室長付	後藤 雪絵 (助教)

2) 活動概要

2009年度は、新型インフルエンザが世界的に大流行した年である。東海大学健康推進センターや厚生労働省の指針をもとに、手洗いやうがいの励行を呼びかけた。また、9月には学内での「新型インフルエンザの対応」を決め、教職員と学生が一丸となって感染予防に努めた。

2007年4月からの構内禁煙に伴い、保健委員会として禁煙の学習会を持ち、11月の飛鳥祭には、禁煙について展示コーナーを開催した。

本学は、看護師養成課程のため病院や様々な施設での実習があり、感染予防を目的に入学前に感染症の検査を受けるよう指導している。項目は、結核、B型肝炎、小児感染症（風疹、麻疹、流行性耳下腺炎、水痘）である。

2年生対象にHBs抗体のない学生に対して、B型肝炎のワクチンの予防接種を希望者に対して実施している。

今年度の活動状況は表の通りである。

表1 2009年度年間業務内容

月	日	活 動 内 容
4	3	前期ガイダンス 2・3年生対象に健康管理についてオリエンテーション（定期健康診断、禁煙教育「何故禁煙が必要なの？」他）
	4	入学式のための救護待機
	6	前期ガイダンス 新入生対象に健康管理についてオリエンテーション（健康推進室の役割、定期健康診断、禁煙教育「何故禁煙が必要なの？」他）
	17	健康診断器材搬入、講堂の準備
	18	定期健康診断、器材の撤去・移送、講堂の整備
	18	3年生対象検便検査（赤痢菌、サルモネラ、病原大腸菌、MRSA, 0-157）老人看護実習施設提出用
	28	健康診断欠席者の再検診
	24	B型肝炎ワクチン接種に関する説明（掲示と口頭説明）

		健康診断データ処理
	30	検尿予備日
5	11	検尿予備日
	12	健康診断欠席者の再検診
6	3	第1回B型肝炎ワクチン接種
	12	B型肝炎ワクチン接種（第1回目未実施者対象）
	1～7/10	1年生の面接指導：既往歴がある学生、ツ反強陽性、ツ反陰性の学生、心理面サポートが必要な学生等の学生に対する面接（29名）
7	1	第2回B型肝炎ワクチン接種
	10	B型肝炎ワクチン接種（第2回目未実施者対象）
8	28	東海大学短期大学（部）スポーツ大会救護
9	18	後期ガイダンス 2・3年生対象に健康管理についてオリエンテーション（受動喫煙と健康障害）
	25	後期ガイダンス 1年生対象に健康管理についてオリエンテーション（受動喫煙と健康障害）
10	21	第3回B型肝炎ワクチン接種
11	1～3	飛鶴祭にて保健委員が「禁煙」に関する展示コーナーを開催
	11	B型肝炎ワクチン接種（第3回目未実施者対象）
	14	推薦入試のため救護待機
1	30	一般入試のため救護待機
3	25	卒業式の救護のため待機

3) 定期健康診断について

学校保健安全法に基づく定期健康診断を2009年4月18日（土）に本学講堂で実施した。検査項目は全学年対象に身長、体重、尿検査、血圧測定を行ない、胸部エックス線検査は、1年生全員と2、3年生のうち入学時にツベルクリン反応が、陰性と強陽性の学生を対象に実施した。

受診率は99.2%であり、未受診者は後日、東海大学湘南健康推進室等で健康診断を実施した。